

謝辞

この度は、私たち中井町の、新たな生涯学習施設並びにそれが位置する役場周辺拠点のランドスケープを含むプロポーザルに、33もの提案者にご参加いただいたこと、心の底から感謝申し上げます。

また本町の趣旨をお汲みいただき、公平かつ的確な審査をしていただきました、遠藤克彦委員長はじめ審査委員各位、また透明性を確保したプロポーザルの制度設計とその運営等に取り組んでいただきました各位にも合わせて感謝します。

一次で選ばれた5者により、2月15日に行われた、最終審査となる公開プロポーザルでは、基本構想・基本計画の策定に関わった町民も含め、多くの傍聴者、また、中継視聴者もおられ、関心の高さがうかがわれました。それだけでなく、こうした一部始終を初めて目撃した私たちにとっては、関心を超えたものを体験したに違いありません。わたしも、建築家と審査委員の質疑応答、建築家同士の全体討論は、まさに真剣勝負であり、どの方の受け応えも、プレゼンテーション同様、優れたものと感じ、中井町の町民の願いと思いが集まった、新たな施設と役場周辺空間が、すでに愛されたものとなっていると感じ、心が熱くなりました。これが新たなスタートでもあります。すでに建築は始まっており、プロポーザルに応募いただいた図面や構想は、地層のようにこの土地に、また本町の歴史に、刻まれていると確信します。またこうした形での建築家との出会いはこれからの公共建築にふさわしいものとも実感しました。

ご参加いただいた各提案者チームの皆様お一人おひとりに限らない敬意を表するとともに、それぞれのご活躍を願い、それだけでなく、限られた形の中でも、また何らかのご縁があればと期待をし、御礼の言葉とさせていただきます。

令和7年3月13日

中井町長 戸村 裕司